

STOP! 生活保護基準引き下げ

ちょっと待った!



呼びかけ人



宇都宮健児 前日弁連会長、反貧困ネットワーク代表
生活保護基準の引き下げは、これまで以上に「餓死」「孤立死」を多発させるとともに、国民生活全体の引き下げにつながる、弱者切り捨ての政策だ。生活保護受給者の増加は、これまで貧困と格差を拡大させてきた政府の失政・悪政の結果である。政府は、弱者切り捨ての政策をやめ、今こそ貧困と格差の拡大をストップさせる政策に、全力を注ぐべきだ。



稲葉剛
NPO法人自立生活サポートセンター・もやい代表理事
国には貧困と闘い、いのちを守る責務があります。生活保護基準を引き下げるとは、貧困との闘いにおける最終防衛ラインを引き下げ、いのちに対する責任を放棄することにほかなりません。国の責任放棄を許さない声を集めていきましょう!



住江憲勇
中央社会保障推進協議会代表委員
全国保険医団体連合会会長
国民の貧困と格差拡大の根源は雇用・賃金の破壊、所得再分配機能の崩壊です。その中で、さらなる社会保障制度の改悪は許されません。生活保護制度改悪は社会保障全体の底抜けをもたらします。



水島宏明 ジャーナリスト、法政大学教授
テレビの「生活保護バッシング報道」はデータの間違いや誇張だらけで、伝聞情報を裏取りせず流すなど「いい加減な報道」の連続でした。ジャーナリズムの専門家として見ても無理解・偏見をおもえる感情報道や不正受給ばかりに焦点を当てて漏給を取り上げないなどマトモな報道とは言えません。しかし、そんな質の低い報道にあおられて今や制度や基準が変わろうとしています。大事な最後のセーフティーネットを一時の感情論の嵐で骨抜きにさせてはいけません。冷静に議論しましょう。



和田秀樹 精神科医、国際医療福祉大学大学院教授
国の豊かさや貧しさというのは、その国の貧しい人の生活レベルで判断されます。その国の貧しい層でも豊かに暮らしている国が真に豊かな国なのです。先進国の平均の4分の1(対GDP比)しか生活保護費を払っていないのですから、自殺が先進国でトップなのも当たり前だし、日本の恥です。生活保護の引き下げがさらに自殺を惹起する。東日本大震災の1.5倍以上の人が毎年自殺している現実にもっと国民は目を向けるべきです。



雨宮処凛
作家
「最後のセーフティネット」の切り崩しは、確実に、命にかかります。誰かが餓死や路上死、凍死に怯える社会は、誰にとっても生きづらい。命を軽んじない社会は、きっと多くの人の生きやすさに繋がるはずですよ。



荻原博子
経済ジャーナリスト
国が無駄遣いをしながら、憲法で保障されている最低限の生活を削るとは、なにごとですか!



朝日健二
NPO 朝日訴訟の会
今日の保護基準は、“人間裁判”朝日訴訟とその後の国民の長年の努力の成果であり、これを後退させることは断じて認められないという思いです。



川口有美子
社会事業家、ノンフィクション作家
私は生活保護は申請していないけれど、これ以上引き下げるとは友人が飢える。とても平気ではいられない。だから反対します。

森永卓郎
経済アナリスト、獨協大学教授
布川日佐史
静岡大学教授、元生活保護の在り方に関する専門委員会委員
橘ジュン
NPO 法人 Bond プロジェクト代表
清水康之
NPO 法人ライフリンク代表

アクション!



詳細はホームページをご覧ください。

Action 1

この"STOP!生活保護基準引き下げ"アピールに賛同し、地元で街頭宣伝などのアクションをしよう!

Action 2

"STOP!生活保護基準引き下げ"署名を集めよう!

Action 3

生活保護基準部会や生活困窮者支援特別部会を傍聴し、心ある委員の後押しをしよう!

Action 4

"STOP!生活保護基準引き下げ"を呼びかけるイベントに参加しよう!

Action 5

12/4(火) 18:00~ 東京・永田町 星陵会館
["STOP!生活保護基準引き下げ"市民大集会]に集まろう!

STOP!生活保護基準引き下げ

検索

<http://nationalminimum.xrea.jp/>

ホームページから署名ができます!

代表連絡先

〒530-0047 大阪市北区西天満 3-14-16 西天満パークビル 3号館 7階 あかり法律事務所 弁護士 小久保哲郎
TEL:06-6363-3310 FAX:06-6363-3320